

家庭から排出される廃食用油のリサイクルについて

1 廃食用油の状況

(1) 廃食用油の現状 (参照: 日本産業廃棄物処理振興センター 令和6年1月作成資料)

- ・廃植物油の全国の排出量は、令和3年度に事業系で約40万トン、家庭系で約10万トン。
- ・事業系は、38万トンが回収・処理され、国内で飼料原料に20万トン、工業原料に5万トン、燃料原料に1万トン、国外の燃料原料に12万トンが利用されている。
- ・家庭系の廃食用油の回収率は高くない。

(2) 本市の家庭系廃食用油の収集

- ・燃やすごみとして、新聞紙などにしみこませて収集
(排出量の推計値: 全国=1億2550万人:10万トン)

(3) 近隣自治体の実施状況

- ・対象 植物性油 (サラダ油、コーン油など)

自治体	事業者	回収方法	リサイクル手法	実施時期	収集量
豊能町	植田油脂(株)	拠点回収 (ステンレス製タンク)	家畜飼料 石けんの原料	H14.10～	約1.8t (R5年度)
亀岡市	ENEOS(株) 植田油脂(株)	拠点回収 (専用リターナブルボトル)	航空燃料 (SAF)	R6.10～	約1,750L/ 5カ月 約1.6t
豊中市	日本航空(株)	拠点回収 (JAL オリジナル UCO ボトル)	航空燃料 (SAF)	R6.8～	430L/ 7カ月 約0.4t
京都市	市 住民・個人	拠点回収 (独自方式・ポリタンク)	バイオディーゼル	H9.8～	12.3万L (R5年度) 約11.07t

油の重さ換算: 1L = 約900g

2 取組みの方向性

- ・事業の実施に向けて、本市の実施環境に応じた事業者や回収方法等の検討を行います。